

開会挨拶「なぜアジア低炭素社会が必要なのか」

環境省参与 竹本和彦

竹本氏は、2010年8月に環境省参与に任命された。また、現在、国連大学高等研究所（UNU IAS）にシニアフェローとして所属し、東京大学サステナビリティ学連携研究機構（IR3S）地球環境研究プロジェクトコーディネーターとして所属している。その前は、国際協力と地球環境問題、とりわけ気候変動に関する政策立案を環境省地球環境審議官として担当した。彼は、水大気環境局長（2005年—2008年）として、大気と水環境の保全を担当し気候変動とのコーベネフィット対策を推進した。OECD/EPOC の副議長（2004-07）、 UNFCCC COP3 議長特別補佐官（1997）を歴任。国際公共政策修士号 Johns Hopkins University SAIS（1992）、東京大学都市工学科卒業（1974）。

**経歴**

2010 現職、国連大学高等研究所シニアフェロー
 2008 環境省地球環境審議官
 2005 環境省環境管理局（現水大気環境局）長
 2003 環境省地球環境局次長
 2002 環境省廃棄物リサイクル対策部長
 2001 環境省大臣官房審議官
 1999 環境庁地球温暖化対策課長
 1998 環境庁大臣官房国際課長
 1996 環境庁地球環境局審議官
 1995 International Institute for Applied Studies
 Analysis (IIASA) 研究員
 1993 環境庁研究調査室長
 1989 世界銀行アジア技術局環境スペシャリス
 ト

その他の経歴・所属

東西センターリサーチインターン, 1978-1979
 JICA 専門家（マレーシア環境技術研修）, 1987
 JICA 専門家（上海大気環境管理）, 1987-89
 START 独立委員会メンバー, 1994-96
 Asia Pacific Network for Global Change Research

(APN) センター長, 1993-95

IIASA 日本委員会メンバー, 2000-

International Group of Funding Agencies for Global
 Change Research (IGFA) 副議長, 2001-02

OECD 廃棄物発生抑制及びリサイクル作業委員会
 (WGWPR)副議長, 2002-03

OECD 環境政策委員会(EPOC)副議長, 2004-07

Commission on Sustainable Development (CSD)共同
 議長, 2010

著作

「低炭素都市」2010, Gakugei (Co-author)

「地球環境と中国」1999, Iwanami (Co-author)

「持続可能社会」1998, Iwanami (Co-author)

“Urban and Industrial Management in Developing
 Countries : Lessons from Japanese Experience,” 1998,
 EDI, The World Bank, (English, Co-author)

「中国の経済成長と環境」（中国語）“Economic
 Development and Environment in China,” 1995,
 Tohoku Economics Publication, (Chinese, Co-author)